

健康登山67:自然歩道36 (切畑 ~ 宇賀溪)

コース	田光公会堂 1.8km/30 1.5m/37 自然歩道分岐 3.4km/49	八風競馬場跡 1.3km/26 福王神社分岐 1.8/57 福王山バス停 1.6km/23	八風大石 0.5km/7 八風牧場跡 1.1m/24 田光公会堂	切畑 2.5m/43 自
水平距離	15.5km		断面図 縦軸：高度m 横軸：距離km	
水平換算距離				
累計高低差	登り554m、下り554m			
標準歩行時間	4 : 56			
実績歩行時間	5 : 10			



山行報告

山行日 2011・8・11 (木) 天候 晴れ 参加者 4名

山科駅7:40 田光公会堂9:30 八風競馬場跡9:50 八風大石10:25 切畑10:55 福王神社分岐10:30 八風牧場跡12:00~12:50 水晶橋13:35 国民宿舎13:50 自然歩道分岐14:23 福王山バス停15:20 田光公会堂15:40 山科駅17:40

記録

山科駅7:40出発、新名神を経て田光公会堂に9:27着、ここに駐車させてもらった。公会堂前の多比鹿神社に参拝後、田光川沿いの八風街道を山へ向って西へ進むと左側に八風競馬場跡がある。前回根の平からタクシーで四日市駅へ向う時に見かけたところである。競馬場跡に立ち寄り、その後15分程歩くと切畑集落の入口に着く。

尾高高原から切畑を経て宇賀溪へ続く東海自然歩道との合流点で、自然歩道を尾高方面へ少し戻って前回行けなかった八風大石に立ち寄った後、切畑の集落に入った。

ここで道を間違えて集落の神社へ向ったが途中で炭焼き小屋のあるいい風景に出合った。すぐに修正して福王神社への道を登った。自然歩道は福王神社のある福王山598mの西側を巻くようにつけられている。途中の分岐点に福王神社へ10分の道標があった。福王神社には立ち寄るつもりだったが、夏場のためだと思うがこの森は大変『蛇』が多く、纏わりつかれて一刻も早く抜け出したかったのでパスをして先を急いだ。

植生が自然林になると八風牧場跡と思われる落ち着いた風景になり、ここで昼食をした。午後は整備された道を気持ちよく歩けた、途中で福王山を背景にして記念撮影をした。急な谷沿い道を下り、支沢を渡渉すると宇賀川に架かる吊り橋に出る。ここが水晶キャンプ場である。山道歩きは終わり、ここからは夏場には辛い林道または車道歩きとなる。

時間があれば竜ヶ岳の登山口である魚止滝辺りまで行く予定だったが、取りやめて国民宿舎前から国道421号脇に設けられた自然歩道を宇賀溪口へ向って歩いた。宇賀溪口から国道306を南下して出発点へ戻るのだが、地図を見ながら出来るだけ旧道を選びながら歩いた。山上でお参りしなかった福王神社を下の鳥居から拜んで、15:40に出発点の田光公会堂へ戻った。

自然歩道 (切畑～宇賀溪～田光)



多比鹿神社に
参拝
9:29



切畑へ向う
9:48



八風大石に
登る
10:27



切畑の炭焼小屋
10:42



福王神社への
分岐道標
11:27



八風牧場跡にて
背景は福王山
12:57



モミの大木を
見上げる
13:10



水晶キャンプ場
13:39



福王山バス停
ここから参拝
15:11



田光公会堂
に戻る
15:40

名所・旧跡ミニガイド（自然歩道：多比鹿神社～切畑～宇賀溪～宇賀溪口～福王バス停）

参考資料 ホームページ他より

多比鹿神社：延喜式内社。祭神：多比理伎志摩流美神。（朝明、田光郷を開発した祖神？）
大国主五世の孫神とも言われています。

創祀年不明。合祀：仁徳天皇、市杵島姫命、伊勢津彦命、天照大神、素戔鳴尊、大山祇神。

永風6年(1434)の八風大明神の棟札が残るといいます。明治43年頃合祀。
親子の狛犬があり。田光バス停田光川の左岸多比鹿橋を渡ると直ぐ。

田光城跡：多比鹿神社北側の道を行くと左手に城への入り口あり。

多比鹿神社の背後の裏山、標高110mに土塁、空堀、土橋、狼煙台、古井戸、天主台の遺構がしっかり残されているそうです。南側は切り立った絶壁で、その下を流れる田光川が堀の役目を果たし、天然の要害となっていました。
平安時代中期に田光隼則が築いたと伝える城館。戦国時代近江の佐々木高頼の四男が姓を梅戸氏と改名田光城を再興。永禄11年(1568)信長の北伊勢進攻に敗れ落城した。

八風競馬場：「お菊伝説」から始まり、2001年まで使用されていた。

現在はスポーツ公園になっています。

外周の柵(ラチ)が残り、競馬場の面影を留めています。

八風の大石：八風街道の村境にある18畳敷もある大きな石。田光、切畑、杉谷の境にあったので、昔この石の上で、村の寄り合いもしたといいます。

石の上に龍神が祀られています。

（八風競馬場と大石は前回行けず、今回行きましたので再掲載しました）

切畑城跡：築城年代不明。城主畑与九郎、畑定政。天正5年(1577)信長により落城。

東海自然歩道切畑分岐から八風牧場跡牧草地方面から北に300mほど入り、伎留太神社(祭神：刈田姫命/農耕神)の上の台地が城跡。曲輪、土塁、空堀が残る。「切畑集落」に標高208.6mの三角点があります(迂回寄り道可)。

福王神社：祭神：毘沙門天(多聞天)...北方の守護神。伊勢の信貴山と呼ばれる。

敏達天皇6年、百濟より来朝した仏工「安阿彌」が勅を受け毘沙門天を、刻んだという。後に聖徳太子の命により福王山にその毘沙門天を安置し、国の鎮護と伊勢神宮の守りとしたと伝える。

また桑名城府の鎮護として京都に習い城下にあった毘沙門堂を移されたともいわれる。

毎月3の付く日は縁日で賑わいバスも神社まで運行されます。

【天狗伝説】神の御使いとして、神社参道には天狗像が祀られています。

福王山頂上に天狗の踊り場」と呼ばれている広い平坦なところがあります。
昔お堂付近を通ると天狗が危害を加えると恐れられたため、桑名藩主松平定綱はこれを憂い付近の木を刈りはらったところ何の障りもなかったという。

福王山 : 598m。福王神社駐車場から、東海自然歩道に繋がる2時間の、ハイキング周回コースがあります。

頂上からの展望はありませんが、頂上尾根(北西)先端から普段見られない竜ヶ岳(1099.6m)石樽峠、宇賀溪の「砂山」の眺望があります。

福王山一帯は桑名藩の藩有林として保護され、山麓の高原一帯はお狩場に定め福王山の杉は船の御用材として出荷された。

明治になり国有林になりました。

八風牧場跡：シンボルであった三角屋根の廃屋の裏から竜ヶ岳の眺望は抜群といえます。
現在は取り壊され更地になっています。(2008.8月)

宇賀溪 : 竜ヶ岳から流れ出す宇賀川にある渓谷。溪流や渓谷は鈴鹿国定公園中随一。
キャンプ場がありハイキングコースも縦横に多く設置されています。
魚止滝、長尾滝、御所滝、五階滝、燕滝などが有名。
竜ヶ岳の登山口でもあり、砂山(497m)と滝を巡るハイキングコースもあります。
駐車場一帯にみやげ物売店や食堂も数軒あります。

【砂山】露出した花崗岩が風化して出来た奇岩の山。伊勢湾、名古屋が見える。
宇賀溪から登山道が6コース(2~4時間)ありファミリーコースもある。
螢石を掘った鉱山跡がハイキングコースに2カ所あります。

宮川調整池(福王湖)：福王神社の谷から流れる宮川をせき止め、1979年灌漑用水として竣工した。提高27m、提長350m、流域面積1.8km²。